

柏土壌医の会

1.会の名称：柏土壌医の会

2.設立許可年月日：2017年9月7日

3.会長：高野典子（こののりこ）

4.会長のプロフィール

一般園芸からの植物病害虫発生・蔓延を抑止する市民ボランティア所属中に土への関心が高まり土壌医に。児童公園（柏市子育て支援課管理）の植栽管理と綿栽培のボランティア活動をしています。趣味は虫（害虫、天敵、土壌動等）の観察。

5.事務局の住所：〒277-0856 千葉県柏市新富町 2-9-18

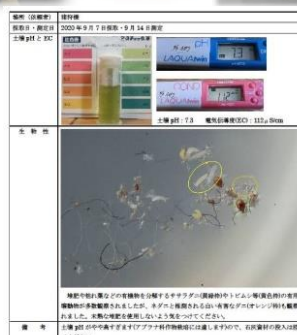
6.会員数 正会員：12名 準会員：3名

7.会の特色

市民農園・家庭菜園等、一般の園芸愛好家を主な対象として土壌診断（土壌 pH、EC、土壌動物観察）や栽培相談を行っています。土の健康管理の重要性を説明し多くの人に土への関心を持ってもらうこと、それによって耕作可能地の減少を少しでも食い止めることが目標です。植物好きな中高年一般市民が会員の中心でしたが、現在は農業関連の若い現役世代が加わりパワーアップしています。両総土壌医の会（本部：山武市）で行われている WEB 研修会に参加させてもらうなど、他地域の土壌医の会との交流も盛んに行っています。

8.これまでの活動

- ・土壌 pH と EC の測定実習 ・測定機器比較実験 ・土壌改良実験 ・市民農園の土壌調査
- ・データ駆動型土作り推進事業千葉県担当 ・土壌医検定試験対策勉強会



土壌 pH と電気伝導率 (EC) の測定の他に、トビムシなどの土壌動物の検出と観察も行っていきます。

・データ駆動型土作り推進事業における調査

2020年度から3年間、農林水産省補助事業である「データ駆動型土作り推進事業にかかわり、柏市、我孫子、松戸市の農家さんや、福島県の綿栽培圃場の土壌調査を行いました。



我孫子市にて水田の土壌調査



福島県いわき市にて綿圃場の土壌調査



・栽培相談（害虫や天敵利用の相談も行っています）



↑カラタチノミハムシによるカンキツ類の葉の食害↑

↑ロビンネダニ

9.今後の活動計画

- ・ 土壌医検定試験対策勉強会
- ・ 土壌分析に基づく栽培改善相談
- ・ 耕作放棄地有効利用による市民農園（構想段階）

…土壌分析に基づく土づくりと病害虫対策を土壌医の会で担当。

土壌管理だけでなく作物の栽培相談にも応じ、利用者が栽培したいものを楽しく栽培できる市民農園として休耕地を利用してもらうことで、農地を荒廃させないよう耕作可能な状態を維持していく。

10.入会のお誘い

土づくり、土壌管理の重要性を一緒に勉強し一緒に広めていただきたいと思います。

<https://kashiwanpo.genki365.net/G0000570/>